

僕と君とこの世界
～風～



春之進

さよなら

さよなら

さよなら

手を振って

見つけたよ

一番星

落ちたしずくは

広がって

カエルのすみかになった

流れ星の落下地点は

君の家です

きらきら光る投影は

ただの幻でしょうか

布団にはいって

また「おはよう」と言いたい



風ふく嵐の

風ふく嵐の

ど真ん中

飛んだ飛んだ

カマキリ

カマ振り回して

大立ち回り

つむじ一本

巻き取られ

あえなく場外

無念なり

雨風しのいだ

蝶々は

その身可憐に軽やかに

日差しの中を

舞ってった

糧

旅の思い出を

画用紙に

クレヨンで

描いたなら

それを丸めて

飲み込んで

僕の背中の

翼は大きく

素敵な舞台へ

笛を吹いたキリギリス

調子に乗ったら

風邪をひいたよ

僕の帽子から

鳩は出ないので

代わりに宇宙のお菓子をどうぞ

猫の手を借りても

ろくな事はないので

君の手をとり

さあ暁の舞台へ

素敵な時間をすごしましょう

流されて

時が虹色に光って

滝のように落ちていった

流されて

流されて

気付けば宇宙のど真ん中

星ぼしの瞬きは

いったい何を語らっているの？

君の声がききたい

デタラメなうた

うた唄いの道化師

きいて きいて

デタラメなうた

宙を駆けた子豚

風に乗って

ランデブー

ウサギの耳は

ロバの耳

アリの行進ダイエット

目指せ未来のカモノハシ？

ポンと飛び出た

玉手箱

開ければ人魚と

寒中水泳

デタラメ デタラメ

みんなデタラメ

たまにはあなたも

いかがです？



カエルの王様

カエルの王様

雲の上

ふわふわ ぽんぽん

飛び跳ねる

山越え谷越え人の波

面白そうに眺めては

だみ声響かせ

歌ってる

翼を持ったあのこには

どうかどうか気をつけて

カエルの王様

雲の上

ふわふわ ぽんぽん

飛び跳ねる

井の中じゃなくて

ごめんなさいね

ゆりかご

緑の葉っぱ

風に遊ばれゆらゆら

僕のゆりかごも揺れる

青い鳥の歌声

幸せを運ぶのは

夢から醒めた後だよ

追憶の源

風船になって

青空にふんわり

可憐な君よ

君と踊ってみたいけど

臆病者は帰ります

あなたの姿もその声も

とってもとっても大好きだけど

醜い僕は土の中

それでもいつか僕だって

きれいな羽をふるわせて

君の前で舞い上がるから

それまで待ってて

可憐な君よ

雨粒が

雨粒が

僕の顔突き

低刺激

悩める僕の

五感をさわる

「これは何かのメッセージ？」

「いいえ ただの通りすぎりです」

見上げる空は

ひたすら遠い

伸ばした僕の手

風が切る

君と僕は

そんなもの



